

岡山大学病院 周術期管理センター 公開セミナー

日 時：2019年1月19日（土）12：30～17：00

場 所：地域医療人育成センターおかやま

MUSCAT CUBE 3階 MUSCAT Hall

テーマ：チームで行う周術期管理 術後せん妄対策ワークショップ

講義	<p>「臨床に役立つ！せん妄の知識とスキル」 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 精神神経病態学 助教 井上真一郎先生</p>
ワークショップ	<p>グループワーク 症例1：術後せん妄への対応 症例2：せん妄の発症予防と重症化予防</p> <p>ミニレクチャー 「せん妄の発症予防と重篤化回避～薬剤師の観点から～」 岡山大学病院 薬剤部 主任薬剤師 江角悟先生</p> <p>「D-mac 紹介」 岡山大学病院 看護部 精神看護専門看護師 馬場華奈己先生</p> <p>【ロールプレイ：せん妄パンフレットを用いた説明】</p> <p>「よくある質問への対応ポイント」 岡山大学病院 周術期管理センター 看護師長 足羽孝子先生</p>

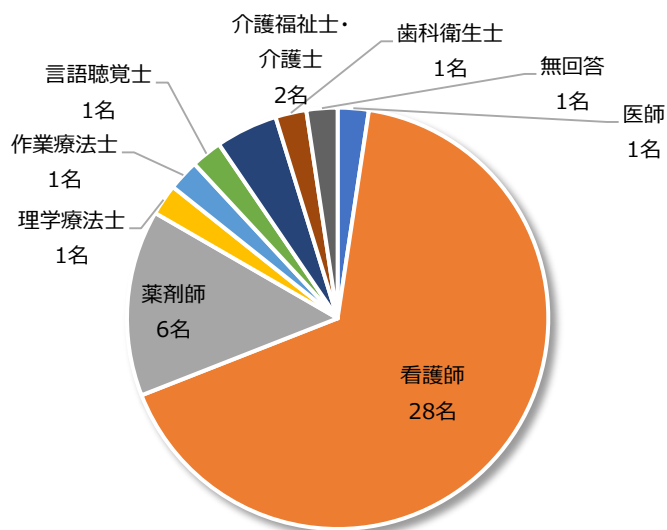


岡山大学病院 周術期管理センター 公開セミナー
「チームで行う周術期管理 術後せん妄対策ワークショップ」を開催いたしました。参加者は10施設42名で、そのうち2施設4名の方が県外から参加されました。

始めに、岡山大学大学院医歯薬総合研究科精神神経病態学助教 井上真一郎先生より、「臨床に役立つ！せん妄の知識とスキル」と題し、せん妄の診断と評価について、せん妄の3因子、せん妄の評価ツール、せん妄の薬物療法、せん妄の非薬物療法について講演が行われました。ワークショップでは、他職種・他施設の受講者で6名ずつのグループ編成をし、事例検討を行いました。次に岡山大学病院薬剤部主任薬剤師江角悟先生より、「せん妄の発症予防と重篤化回避～薬剤師の観点から～」と題する講演が行われました。「薬剤」が原因でせん妄が生じる場合があること、加齢は薬物動態や薬物作用へ影響すること、身体疾患治療薬でもせん妄の原因となること、睡眠薬の離脱症状はせん妄発見の要因のひとつであることが述べられました。続いて、岡山大学病院看護部精神看護専門看護師 馬場華奈己先生より、D-mac(Delirium Management&Assessment Center)の紹介と、岡山大学病院せん妄対策チームが制作した「せん妄の予防と対策について」のパン

フレットを用いてロールプレイを行いました。

最後に岡山大学病院周術期管理センター看護師長 足羽孝子先生より、周術期管理センター術前外来で経験した事例を踏まえて、患者・家族への教育について、よくある質問への対応のポイントを紹介されました。研修終了後の受講者アンケートでは、実践的な内容で理解しやすかった、グループワークで他職種からの意見が聞けて勉強になったとの意見をいただきました。また、せん妄に対する知識が深まり、実践でも活かせそうな経験ができたとの意見もいただきました。



参加者地区内訳

参加地区	人数
岡山市内	8
岡山市外	30
岡山県外	4